

ふるさとの昔 27

田植え

水田でイネを栽培する水田稲作では、直接種モミを本田にまくのではなく、まず苗代なわしろで苗を育ててから移し植える「田植え」を行うのが一般的です。苗代では、種モミをすきまなくまいて発芽させ、草丈5~10センチの苗にまで育てます。昔は、苗代は本田とは別の狭い田に作りましたが、現在では浅いプラスチック製の箱状容器を使います。田植えの時期は稲の品種などによって違いますが、坂祝では5月から6月初めに行われることが多いようです。

田植えは、腰をかかめ苗を一株ずつ人の手で植えていく大変な作業でした。家族だけではやり切れず、近所の人や親せきと労力をやりくりしたり、賃金を払って人を頼んだりしました。人の手による田植えの中心になったのは女性が多く、男性は苗代での苗取りや苗運びを引き受けました。子どもも大切な労働力でした。

今日では農作業にはさまざまな機械が使われていますが、田植え機の導入は耕うん機に比べて大きく後れました。昭和43年の坂祝では、耕うん機は270台使われていましたが、田植え機はわずか12台でした。



大正末ころの田植え(深蒼西沖)



FMらら「さかほぎなう！」で ラジオの世界に飛び込もう！

FMらら(FMラインウェーブ株式会社)は、中濃地域にまたがるコミュニティ放送局です。主に、地域の緊急、災害、市政、文化、生活、市民交流に関する情報をいち早く提供することを目的とします。また、この地域の特徴を生かした、ゆとりある地域住民の交流・集いの場「音の駅」を目指しています。

■災害に強い媒体

コミュニティ放送は、災害時に携帯電話のような利用集中の影響を受けず、情報を発信できます。東日本大震災が発生した際、ラジオで発信した情報が被災地を支える、ということがありました。ラジオを聴く習慣をつけることが、災害時の情報収集につながります。

■「さかほぎなう」はどんな番組なの？

毎月1回(第3火曜日18時~18時20分まで)に放送している「さかほぎなう！」ではパーソナリティの小栗さんと町内や町との関わりが深いゲストを迎え、フリートークで普段の活動や意外な一面をお届けします。学びあり、笑いあり、たまに感動あり?な夜のひと時をじっくりと楽しむことができます。

【出演者を募集しています】生放送ではないため、日程調整を行い、収録を行います。(場所 美濃加茂市)収録前に打ち合わせを行い、収録後に制作スタッフが編集をして放送します。町内外の方もご興味がある方は企画課までご連絡ください。問い合わせ先:企画課 ☎66-2411

いつでもどこでも 聴けるアプリが登場



App Store
ダウンロード



GooglePlay
ダウンロード

FMららのラジオ番組をスマートフォンやタブレットで楽しめます。インターネット回線があれば世界中どこでも聞けます!ぜひダウンロードして聞いてみてください。



今回のゲストは

株式会社テクノ・ライン
代表取締役社長 兼松真一様
#株式会社テクノ・ライン #設計

7月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・水・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集日 23日(木)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集 19日(日)

時 間: 8時~10時
場 所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、
蛍光灯、水銀式体温計、
紙パック、廃食用油、乾電池

町リサイクルステーションの収集日

場所: 旧町民ふれあいプール駐車場

古紙・古着

毎日9時~17時

その他リサイクル資源

毎週日曜日・水曜日9時~15時



詳細はコチラから